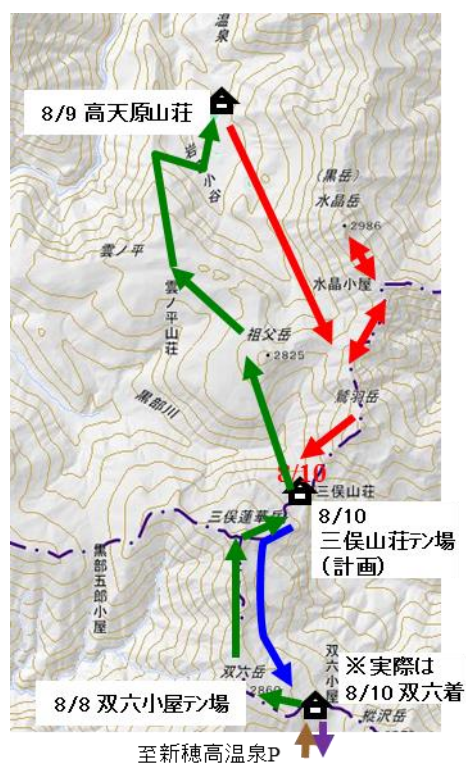


## デンソー山岳部 15年度夏山合宿 Bパーティー 報告書

- 山城 : 北アルプス深部  
 (新穂高～双六岳～三俣蓮華岳～雲の平～高天原温泉～水晶岳～鷲羽岳～双六～新穂高)  
 日程 : 2015年8月7日(金)夜～8月11日(火)、行動4日、予備日1日  
 メンバー : 山口達哉(CL)、春口昂輝(SL・会計)、谷川圭介(装備)、  
 森朋哉(記録)、天野広(食糧)、竹内幹雄(渉外)、 以上6名



### ■今回のルート



### <第1日> 8/8(土) 晴れ 【森記】

【行動記録】 歩行=8H40M

8/7夜 19:00 本社N駐集合→ 23:20 新穂高鍋平P、00:45 就寝  
 8/8 3:00 起床、04:30 鍋平P発→ 05:15 登山指導センター→  
 06:35 わさび平一本 →07:15 小池新道分岐一本→ 07:55 秩父沢  
 出合一本→ 09:00 シシウドケ原付近一本→ 10:20 鏡平山荘一本  
 → 11:35 弓折乗越一本→13:10 双六小屋テマ場着

最終日の業務終了後各々N駐に集合。見送りに来てくれた方田合宿CLと現地での再会を誓い、山口号・谷川号に分乗し新穂高を目指す。先行する津田さん(個人山行でほぼ同ルートにて水晶・赤牛へ入山)によれば近場の駐車場は既に満車とのこと、歩行は伸びるが少し上の鍋平P泊とし、いよいよ翌日からの合宿に胸躍らせながら少し語らって就寝。夜空には天の川、流れ星。明日は天気よさそうだ。

翌朝、少し余計に歩くため30分前倒しで出発。ほどなく登山指導センターにて津田さんと合流。本日はAパーティーもどこかで出会う(追い抜かれる)はず、にぎやかな一日になりそう。舗装とダートを繰り返しながら延々と林道が続く。傾斜がないのは初日の体には助かるが先も長く少し時間遅れ気味だったため、春口SLに少しペースアップを要求。中崎橋、笠新道登山口を過ぎ、わさび平小屋で休憩しているとAパーティーの方田CL他3名が到着し、トヨタ山岳部一行にもご挨拶。



小池新道分岐の橋を過ぎると左手に大きな雪渓、足元も林道から登山道へと一変、いよいよ山行といった雰囲気です。俄然気分が盛り上がる。同じく気分が高揚したのか先頭の春口SLのペースが速く、まだ山の影で涼しいはずなのだが皆もう汗だく、息も絶え絶えである。秩父沢出合、シシウドケ原と刻み、少し平らになったころ、眼前に秀麗な槍穂の姿。鏡平に到着。池に写る山並みがすばらしく、撮影会の後、すぐそばの小屋へ向かうと途中追い抜いて行ったAパーティの姿がありしばし別れを惜しみ見送る。予定ではこの先会えないのだ。小屋にはかき氷があり楽しんだメンバーも。リフレッシュののち、稜線への最後のひと登りに向かう。

日差しは暑いが高度を稼ぐにつれ風が涼しく心地よい。淡々と歩いてなんとか無事？弓折乗越に到着。さあ後は稜線伝いに双六小屋へ。しばらく歩くと明るい緑に覆われた緩やかな鞍部に双六小屋、その向こうに鷲羽岳・水晶岳がそびえていて大いに気分が盛り上がった。

双六小屋のテン場は賑わっていたが、早目に着けて無事サイトも確保。流行のソロテントも多いが学生の巨大テントもまだまだ健在で、いかにも夏山合宿らしい。あとは一同小屋のビールで乾杯、のんびり過ごすだけ。Aパーティとの無線交信は不調に終わり残念だったが、天野さん発案の豆だくさんのポテトサラダ、チリコンカンライスをおいしくいただき、ゆっくり就寝。

## <第2日> 8/9(日) 晴れ 【谷川 記】

【行動記録】 歩行時間=10H15M

03:30起床、04:45双六小屋テン場発 → 05:45双六岳2860m一本 → 07:15三俣蓮華岳2841m一本 → 08:45黒部川源流地標一本 → 09:55祖父岳手前2600m付近一本 → 10:45祖父岳登山口 → 11:10祖父岳2825m一本 → 11:35祖父岳登山口一本 → 12:40雲ノ平一本 → 14:00高天原峠一本 → 14:35水場2100m付近 → 15:00高天原山荘～各々温泉入浴、小屋泊

昨夜は初日が睡眠時間短めもあって、熟睡(シュラフカバーのみの春口君は寒かったらしいが)。朝食はアルファ米を頂く、お湯沸かしとアルファ米の出来上がりに時間がかかり、15分遅れてスタートした。雲ひとつない快晴の朝焼けの中、気持ち良く稜線を上って行く。涼しい中、1時間程で双六岳に到着、槍ヶ岳も見える合宿最初のピークに握手する。続いて三俣蓮華岳へ快調に歩みを進めて行くと、頂上付近で、部員の松浦さんが待っていてくれた。直後に今朝テン場で別れた津田さんも現れ、再会を祝う握手。この後、三俣山荘まで下って、お



二人とは別ルートで別れたが、調子が良かったのはこの辺りまで。徐々に気温が上がり始める。てっきり三俣山荘で水補給のつもりだったが、分岐がよく分からず、パスして進んでしまう。天野さんが少なめだったようで、メンバー間でシェアすることでそのまま行くことに。実はこれが後で、問題になってしまうのだが…。黒部川源流地標で1本の直後の祖父岳への登りは、灼熱の上、ジグザグの急登で相当な体力を消耗した。頑張って登りきり1本とるものの、その後の祖父岳はキャンセルして進むものと大方のメンバーは考えていたようだが、目の前の祖父岳への未練もあったため、リーダーの「行きましょう」の一言でピストンすることに。少しルートを間違えて岩場の多いバリエーションを進み、頂上に至る。こんな辺鄙な頂上でも、他に登山者が来るもので、集合写真をお願いして撮ってもらう。雲ノ平は、庭園風な草原の木道を進むが、祖父岳手前では沢の水が潤沢だったのに水不足とのことで(テント場には水はあるらしい)、とにかく暑い。そろそろ水が気になる1本で、なんとリーダーが先に水無しとなる。ハイドレーションは水量が分かりにくいのだ。水をメンバー間でシェアして、長い下りを進む。途中で水場がある事は分かっていたので、そこまで進めば問題ない。水場に着くも特に明示がなく、それらしい場所で補給する。

と言ってもあと30分で高天原山荘のため、喉を潤す程度で十分だった。当たり前だが、水を十分確保する事は夏場では最重要だ。ちょっとヒヤヒヤした。山荘へあと1kmのところ、また松浦さんが出迎えてくれた。温泉を我慢して、我々を待っていてくれた。山小屋へ荷物を預け、早速温泉へ出発。30分もかからず到着し、温泉でビール片手に和む。時間が遅く他のお客さんは少な目で、ゆったりと入浴できた。女性がいなかったの、ガッカリしたメンバーもいたかも？。僕は、冷たい川で体を洗って、ホントにさっぱりした。残念だったのは、楽しみにしていた松浦さんとの宴会ができなかった事(待っている間に飲み過ぎちゃったみたい)。夕食は、(宿泊客が消費し)少しぬるいビールで乾杯！メニューはハムカツとサラダ、味噌汁、ご飯だった。漬物がおいしく、3杯もご飯を頂いた。



### <第3日> 8/10(月) 晴れ 【春口 記】

【行動記録】 歩行=10H25M

3:00 起床→4:10 高天原小屋発→5:10 水晶池入口1本→6:15 1本→7:15 ワリモ北分岐1本  
→8:30 水晶岳 →9:20 水晶小屋1本→9:55 ワリモ北分岐→10:55 鷲羽岳1本→12:15 三俣山荘1本  
→14:00 1本→14:35 双六小屋テン場着

合宿3日目。高天原小屋の気持ちのよい布団から出て、他の登山者を起こさないよう支度に取りかかる。外は真暗の中、お湯を沸かして小屋のお弁当を食べる。朝からおにぎり2個とおかずのサツマイモはボリューム満点。各自食後の飲み物を飲みほし、出発。水晶池入口までヘッドライトで道を照らし進む。朝日が昇り、絶好の登山日和であることに喜びながら沢浴いを進み、ワリモ北分岐に辿り着く。

重いザックを降ろし、アタックザックの準備。メンバーの表情はより明るくなり、和やかな雰囲気です水晶岳山頂に向かう。水晶小屋付近の道から人が多くなり、道を譲り合いながら岩場を慎重に登り、混み合う水晶岳山頂に着く。天候に恵まれ展望が良く、360° 周辺の山々を見渡す事ができた。集合写真撮影後は速やかに山頂を次の登山者に譲り、水晶小屋・ワリモ北分岐まで来た道に戻った。再び重いザックを背負い、いよいよ合宿最後の山頂を目指す。途中ワリモ岳のピークと鷲羽山頂を誤るメンバーを励ましながら急登を進む。空身から体が重くなって1時間後、ようやく鷲羽山頂に辿り着いた。メンバー全員で健闘を称え合う握手。山頂からの青空、槍ヶ岳・鷲羽池の景色が心に残った。夏山最高！山頂を満喫し、三俣山荘へと向かう。山荘では本日2個目の百名山バッチ(鷲羽岳)を入手！祝10個目！心の中で祝った。当初の予定では山荘テント泊であったが、翌日の歩行時間・テン場の空き状況から双六山荘へ向かった。山口CLは、山荘の便利なメモサービスを活用し、本日宿泊予定の津田さんへお別れメッセージを残した。急斜面と岩場の登り降り・日差しの影響で、少しずつ足の痛みと疲労が蓄積される中、メンバーは巻き道を通り、黙々と双六山荘を目指した。双六岳山頂より下る道からはテン場の様子を確認。まだ空きがあることに一安心。SL・会計担当の自分は、少々早歩きでテン場受付へ向かう。山荘の綺麗なお姉さんを見て気分が高揚した所で、メンバーと幕営。全員疲れ切っていたが、ご褒美の山荘生ビールで笑顔が戻った。夕食は天野さんオススメ西友のカレー。様々なバリエーションに富んだカレーはどの味も美味しく、メンバーは西友のとりことなった。(チキンバター、イエローカレーetc) 宴会の最中、Aパーティが合流。明日の下山に向け、酒を全て飲み空かそうと意気込むメンバーであった。



水晶岳山頂



鷲羽岳山頂



ご褒美を堪能するメンバ(双六山荘)

**<第4日> 8/11(火) 晴れのち曇り 【天野 記】**

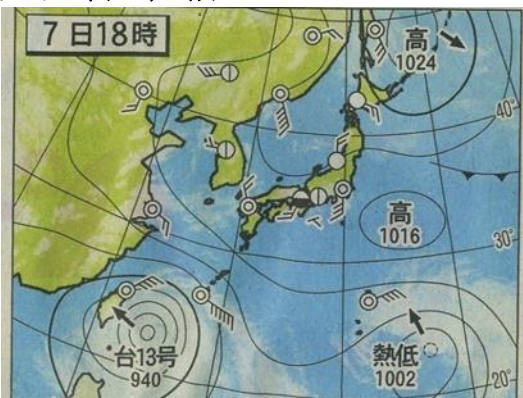
【行動記録】 歩行時間=5H05M

3:20 起床 → 4:50 双六キャンプ場発 → 5:50 弓折岳分岐通過 → 6:25 鏡平小屋一本 → 7:07 シシウドヶ原通過 → 7:50 秩父沢一本 → 8:35 小池新道分岐通過 → 8:50 わさび平小屋一本 → 9:55 新穂高(16:30 部室着)

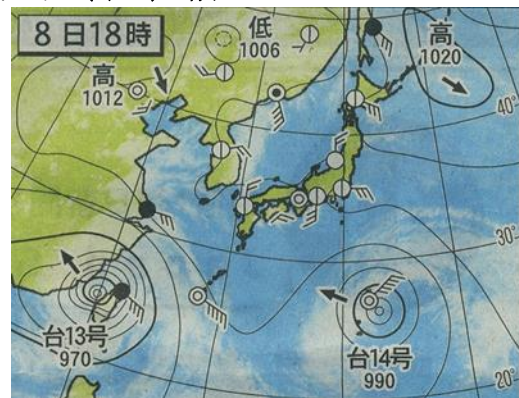
昨夕の雨は上がり晴れている。カップヌードルリフィルを美味しく頂き、身支度を整え小屋前に集合する。2泊した双六キャンプ場に別れを告げ出発する。昨日の頑張りのおかげで、最終日はほとんど下りのため気分が楽だ。そのためか歩行ペースが早い。ゆえあって弓折岳分岐から鏡平小屋まで天野がトップで歩く。山小屋のトイレに感謝。このあたりからすれ違う登山者が増え、何度も一時停止を余儀なくされ早かったペースもダウンしてくる。中高年登山者も多いが、若者もたくさんすれ違い登山ブームの高まりを感じた(若い女性について目が行ってしまう)。秩父沢では老若男女があふれている。最後の下りでは、けがの無いよう気を引き締め小池新道分岐の橋に到着する。谷川氏と春口君が走りだし、わさび平小屋に到着する。新穂高までは退屈な林道歩きでうんざりする。ロープウェイで鍋平駐車場まで行こうとしたが待ち時間があつたため、相談の結果、谷川氏と春口君に車を取りに行ってもらった。ありがとうございました。他4人は「中崎山荘奥飛驒の湯」で待機し、共同装備を整理した。入浴後道の駅「奥飛驒温泉郷上宝」の食堂「いちすけ」で「岩魚の天ぷらそば」などを堪能した。部室ではA隊と合流でき締めのを合同で行い、全員の無事と予定通りの行動が出来た事を祝った。

**■気象状況 : 竹内**

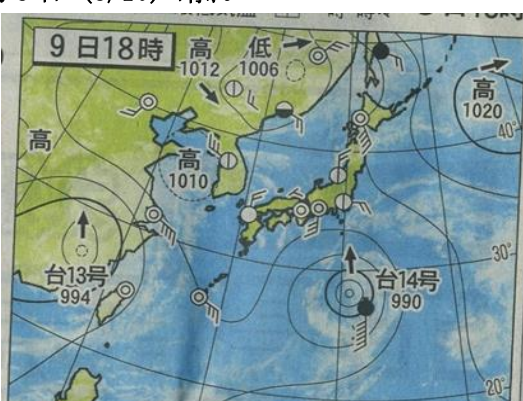
全日程、高気圧に覆われて行動中は雨に降られることもなく晴天の中を行動することができました。おかげで景色も楽しみながら充実した山行ができました。

**第1日(8/08) 晴れ**

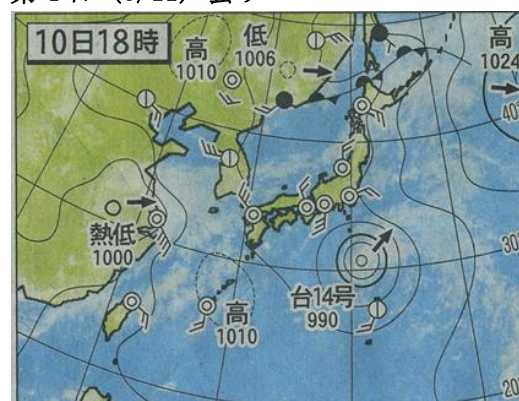
快晴。  
高気圧に覆われて快晴。風がなく暑いが、稜線に出ると微風。心地良い。展望も良い。

**第2日(8/09) 晴れ**

快晴。  
稜線では微風が吹いて心地良い。  
青空が広がり、頂上から絶景が見える。

**第3日(8/10) 晴れ**

晴れ。  
14:35 双六小屋に到着。夕方16時頃から雨が降り出したが1時間程で止んだ。

**第4日(8/11) 曇り**

曇り。  
行動するのに暑さもしのげて歩きやすい。  
雲が広がり青空は隠れている。

### ■装備 : 谷川

夏合宿であるため、個人装備は軽く、共同装備は6人に対して余裕のV8テントがメインで、コッヘル・バーナー等を加えても負担が軽かった。しかし、暑さに対しての体力消耗もあったメンバーもいて、注意は必要である。ガスの消費量は思ったより少なく、合計200gで、2.5缶(460×2+150g)は多めだった。

### ■食糧 : 天野

第1日:夕 チリコンカンライス、白米(0.7合)、ポテトサラダ、インスタントスープ

第2日:朝 アルファ米(五目御飯5・チソライス1)、インスタント味噌汁

第2日:夕 小屋食

第3日:朝 小屋食(弁当)

第3日:夕 レトルトカレーライス、白米(0.6合)、軽量サラダ、スープ

第4日:朝 カップヌードルリフィル

- ・行動時間と軽量化を考慮し、第2日夕食と第3日朝食を小屋食とした。(朝食は弁当)
- ・野菜系のおかずを取りたく、サラダを充実させた。  
ポテトサラダを作るのに少し時間が掛かったが、ポリューミーで酒のつまみにもなった。  
概ね好評だったと思う。  
軽量サラダは定番の海藻サラダにオリーブとミックスビーンズを混ぜたもの。  
簡単なので今後にも生かしたいと思う。
- ・朝食は時間の掛からないように考慮した。  
カップヌードルリフィルは容器が薄く、また取り分ける手間が省けます。  
種類も多く(味もいろいろあり、うどん・そばもあり)今後も使えると思う。
- ・レトルトカレーも種類がたくさんあったが、事前に味のリクエストをとり買出しの時間を省いた。
- ・コッヘルでの白米の炊き方(参考資料→ [http://www.camp-outdoor.com/tozan/cooking\\_rice.shtml](http://www.camp-outdoor.com/tozan/cooking_rice.shtml))
  - ①可能な限り米を長く水に浸しておく(30分以上)
  - ②水の分量:無洗米1合に対し230ml
  - ③火加減 :ストーブの最大火力で吹きこぼれる直前まで火にかける。  
吹いたらサッと鍋を持ち上げる(吹きこぼれを阻止するため)  
ストーブの最少火力で20分、そのまま放置。火が消えるか消えないかくらいの火力。  
消えてないか時々チェック。

### ■会計 : 春口

収入		支出	
会費		高速,ガソリン代	¥35,400
¥19,000×6名	¥114,000	食糧	¥10,800
差し入れ 金子さんより	¥2,000	テン場代	¥12,000
不破さんより		小屋代	¥55,200
牛しぐれ		ビール代	¥2,600
計	¥116,000	計	¥116,000

※金子さん、不破さん、差し入れありがとうございました。

### ■感想&総括

#### <リーダー感想&総括> : 山口

まず、1日8時間以上の歩行が必要な比較的厳しい山行で、全メンバー怪我や大きなアクシデントも無く計画通りに無事に山行を終えることができ、ほっとしています。リーダーとして力不足でしたが、計画段階を含めて各メンバーから多大なるサポートいただいたことに感謝します。ありがとうございました!

#### ●良かった点、反省点(個人的なもの含む)

##### [良かった点]

- ・WANTレベルの目標も全て達成することができた。  
(2日目の祖父岳登頂と高天原温泉満喫、3日目の双六小屋まで足を伸ばす)
- ・美味しい食事(天野さんの頑張りに感謝)と、晴天での山々の素晴らしい景色(天候に本当に恵まれた)

## [反省点]

- ・2日目の飲用水不足(ハイドレーション残量確認ができなかったことと、三俣山荘で水補給できず)  
⇒各メンバーでシェアしてなんとかしのいだが、予備の水を持つことが必要
- ・2日目に祖父岳に寄るかどうかの判断  
⇒計画に対して遅れているのに行くことを決断。結果的には良かったものの、安易に決めてしまった感があり、もう少し冷静に判断できるようにしたい
- ・他部員、関係会社との交流不足  
⇒同じ山域にいる他部員や関係会社の方々との交流にあまり時間を使うことができなかった  
また別の企画でぜひ一緒にしたい!

今回の山行は4日間ずっと天候に恵まれ続け、素晴らしい景色を思う存分楽しむことができた。奥深い山域のため日数と相応の体力は必要であるが、期待以上の満足度が得られるものであった。また、テント泊装備を背負って4日間も歩き続けたことが無い自分にとって、今回の山行を無事に終えることができたことは、今後に対して自信をつけることができたと思うし、各メンバーも同様に感じていると思う。引き続きいろいろな山にチャレンジしていきたい。

最後に差し入れを頂きました、金子さん、不破さん、また留守部員を引き受けてくれた山田さん他部員の方々に感謝いたします。皆様からのサポート本当にありがとうございました。

## &lt;メンバー感想&gt;

## 【春口】

入部以来初のSLを担当し、先頭で歩きました。途中ルートを誤る事もありましたが、メンバーのサポートのおかげで修正でき、計画通り無事に歩ききる事ができました。今回SLを経験した事で、メンバーにとって歩きやすいペースやルートを考えるといった、SLならではの役割・大変さを学びました。また、他登山者への配慮・基本マナーなどもご指導頂き、とてもためになる夏合宿となりました。今後も経験を重ね、メンバーを引っ張っていけるSL目指して頑張ろうと思います。メンバーのみなさん、ありがとうございました!

## 【谷川】

初めての夏山合宿、3泊4日の長丁場で、体調維持に不安があったが、飲料水・トイレ完備の山小屋に助けられて、何とか無事に乗り切れた。好天が予想されたので暑さ対策はしていたが、風の無い稜線ではへろへろだった。しかし、美しい山々を見ながら、みんなと一緒に頑張れた。ご飯もおいしく頂けて、楽しい宴会もできた。2度と無い素晴らしい夏山合宿にしてくれたメンバーに感謝です。

## 【森】

2年ぶりの夏山合宿、直前に申し込んで少し迷惑をかけてしまったが、快く受け入れていただいた皆さんに感謝。合宿のように長丁場と一緒に過ごすのは、やはり単発で出かけるのとは違った交流があり新鮮で楽しかった。皆でちょっとピンチに陥って(水)少し焦りましたが、翌日にはペース配分や荷物の調整できちんと立て直して、3日目には見違えるような上手な行動が出来、若手の皆さんの成長を感じ嬉しかった。欲を言えば計画時点から皆でいろいろ揉むとよかったかも。また出かけましょう!

## 【天野】

連日好天に恵まれ、360°の展望を楽しみながら縦走ができた。ときどき振り返り、歩いてきた峰々を眺めると達成感、充実感を味わうことができた。

双六岳の優しい景色・祖父岳の展望・温泉に浸かった事・険しい水晶岳に登った事・鷲羽岳の急な下り・3日目の双六キャンプ場への頑張りなどが印象に残っています。

厳しい中にも笑いの絶えない充実した合宿ができたと思う。皆様に感謝します。ありがとうございました。

## 【竹内】

晴天の中を歩くことができ、思い残すことはありません。秘湯と呼ばれる「高天原温泉」にも入ることができ良い思い出になりました。3日目は共同装備をメンバーに持っていただき、とても感謝しています。

「夏合宿」では通常の例会と一味違う山の楽しさを感じました。メンバー、留守部員の皆様には大変お世話になりました。有難うございました。

以上